

GIGA スクール構想第 2 期

～個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて～

第 2 回 伊賀市総合教育会議 資料

教育委員会

1人1台端末の利活用に係る計画（令和7年2月策定）

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」の実現及び伊賀市が教育大綱で掲げる「一人ひとりが輝くこと 一人ひとりが心豊かで健やかに成長・自立し、共に未来を創造することをめざして」を実現するため、児童生徒の成長段階に応じて、1人1台端末を始めICT機器を積極的かつ効果的に活用し、1人ひとりの特性や学習の進度に応じた「個別最適な学び」と、互いのよい点や可能性を生かしながら共に学ぶ「協働的な学び」の充実に効果を上げているか確認しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげていく。特に1人1台端末については、課題解決に取り組む学習活動の中で、考えをまとめ、発表・表現する場面で積極的に活用を進める。そして、今後さらなる活用に役立てるために、課題や資料の効果的な提示や、1人ひとりの思考を深める活動などに積極的に活用し、その活用データを蓄積していく。

2. GIGA 第1期の総括

【目標】

（1年目）【活用推進校：成和西小学校・緑ヶ丘中学校・上野東小学校】

- ・教師、児童生徒ともにタブレットの日常的な活用
- ・さまざまな場面における活用方法の開拓
- ・タブレットPCによる「気づき」が起こる学びの効果の確認

（2年目）【活用推進校：上記3校+上野南中学校】

- ・より効果的な活用方法の追求（各活用場面における要否の整理など）
- ・タブレットPC導入を契機とした授業改革
- ・持ち帰りを積極的に進めることで学校と家庭の学習を切れ目なくつなぐ

（3・4年目）【活用推進校：上記4校+上野西小学校・霊峰中学校】

- ・これまでに蓄積した学習記録の活用
- ・学年や教科の境界を越えた（教科横断的）深い学びとその評価の実現
- ・GIGAスクール構想第2期に向けた見直しや整備計画 など

【成果】

タブレットPCを活用することにより、いつでもどこでも、自分自身の学びの大切な場面を写真や動画に残したり、考えたことや仲間と対話したことをカードやノートに書き込み振り返ったりしながら、自らの次の学びへつなげることができた。上記活用推進校の取組をもとに、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向け「伊賀モデル」を考案し取り組んだ。授業では、課題に対して、まずは自分で考え、次に仲間と対話し、実際にやってみて振り返るといように、「個の学び」と「協働の学び」の往還ができた。家庭学習では、授業での学びの続きを家庭で行い、さらにその続きを次の授業で行った。単元全体が一つの学びのまとまりとして切れ目なくつながることにより、学習効果が向上した。

活用が進むにつれ広がってきた学校間格差については、活用推進校の実践に学ぶ機会や教職員の校内研修・交流の場を数多く設定し、質を高める研修の充実に努めた。

3. 1人1台端末の利活用方策

これまでの端末活用を促進するというフェーズから、端末活用により個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現するフェーズへと軸足を移すために、以下の取組を進める。

【GIGA環境を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実】

- ・児童生徒の成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援することや、児童生徒が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるよう促す取組を進める。
- ・集団の中で個が埋没してしまうことがないよう、1人ひとりのよい点や可能性を生かすことで異なる考え方が組み合わさりよりよい学びを生み出す授業改善の取組を進める。
- ・「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないよう、探究的な学習や体験活動等を通じ、児童生徒同士であるいは多様な他者と協働しながら学ぶ具体的な取組を進める。

【GIGA環境により実現する子どもの学習状況の的確な把握(見取り)と、個に対する丁寧な指導の工夫・改善】

- ・GIGA環境を活用することにより、児童生徒の思考やその経過を可視化しやすくなっていることを踏まえ、授業において適切なタイミングをとらえて個別の指導・支援に生かしたり、次時の指導・支援に生かしたりする学習指導の取組を進める。
- ・外国につながりをもつ児童生徒が、一時帰国する際に端末を持って行かせ、日本語を忘れてしまわないように、海外と日本でやり取りをおこなうなど、学習支援の取組を継続して進める。
- ・病気療養児童生徒が、入院する際に端末を持ち込ませ、学校とのつながりを続けていくことで安心させるために、病院と学校でやり取りをおこなうなど、学習支援の取組を継続して進める。

【GIGA環境下での教科指導の工夫・改善】

- ・GIGA環境を活用し、教科等で求められている資質・能力がよりよく育成される学習指導の取組を進める。
- ・特別な支援を要する児童生徒への端末を活用した個に応じた学習支援の取組を進める。
- ・不登校児童生徒への端末を活用した授業への参加、視聴などの学習支援の取組を進める。

GIGAスクール構想第2期に向け、端末の更新を確実に行之、1人1台端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を活用し、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持することが重要である。